



## ～秋の近江八幡・水郷と建築とアートの旅～ 参加者大募集

毎年恒例の研修旅行。今年は滋賀県近江八幡を訪れます。

初日は、手漕ぎの和船に乗って西の湖めぐり、藤森照信氏設計のラコリーナ近江八幡、ヴォーリス建築などを見学し、晩は秋の味覚を食し近江八幡で宿泊。2 日目は、町中の BIWAKO ビエンナーレ 2018 を鑑賞し説明を頂き、ボードレス・アートミュージアムや古民家、町並みなども併せて見学します。

見所満載で盛り沢山ですが、ゆったりとした計画にしています。会員の皆様は勿論のこと、ご家族・ご友人もお誘いあわせの上、奮ってご参加ください。

気候の良い秋、楽しい大人旅で英気を養いましょう。お申込みをお待ちしています。

日 時 2018 年 9 月 29 日(土) ～ 30 日(日) 1泊2日

宿 泊 先 コンフォートイン近江八幡 (〒523-0891 近江八幡市鷹飼町 514-1 Tel: 0748-36-0001)

集 合 場 所 JR 近江八幡駅改札出口 10:30 ※集合場所までの交通経路及び手段は自由選択

交 通 手 段 原則、現地タクシーで移動

募 集 人 数 12～16 名程度(部屋はツインルーム他予約済み最大 16 名まで利用可能)  
※キャンセルの場合はキャンセル料を頂戴することがあります。

費 用 約 18,000 円(参加人数、タクシー利用台数、夕食代などにより変動します)  
・宿泊代(1泊朝食付き 6,000 程度/1人)  
・食事代(夕食 5,500 程度/1人)  
・現地タクシー代(1,000 円程度/一人)(1台4名約3回移動で試算)  
・見学先入館料等 [水郷めぐり(予約要)2,000 円程度、ヴォーリス記念館(予約要)300 円、近江八幡市立資料館(郷土資料館・歴史民俗資料館)&旧西川家住宅 500 円、旧伴家住宅 400 円、BIWAKO ビエンナーレ(予約要)2,000 円、ボードレス・アートミュージアム NO-MA 300 円]  
・初日と 2 日目の昼食代、集合場所への往復の交通費は各自でご負担願います。

行 程(計画) (第 1 日目 9 月 29 日(土))  
JR 近江八幡駅 集合 出発(10:30) ⇒ 荷物預入(ホテル or ロッカー)  
⇒ あきんどの里 ※駅前かここで各自弁当等を調達 ⇒ 水郷めぐり(約 80 分)  
⇒ ラ コリーナ近江八幡 ⇒ ヴォーリス記念館他町並み散策  
⇒ ホテル到着 ⇒ 夕食(京料理 宮前※)懇親会 ⇒ 入浴・就寝 ※夕食場所及び料理調整中

(第 2 日目 9 月 30 日(日))  
起床・朝食 ⇒ 出発(9:30) ⇒ 近江八幡市立資料館&旧西川家住宅 ⇒ 旧伴家住宅  
⇒ 尾賀商店(総合受付 11:00)集合(アッポコ参加者合流) ⇒ BIWAKO ビエンナーレ見学  
⇒ 昼食(酒遊館※) ⇒ BIWAKO ビエンナーレ見学 ⇒ ボードレス・アートミュージアム NO-MA  
⇒ 町並み散策 ⇒ JR 近江八幡駅 解散 ⇒ 帰路 ※昼食場所調整中

申込方法等 NPO 法人 Arts Planet Plan from IGA 事務局へメールにてお申込みください。  
参加希望者全員の名前、住所、携帯電話番号をご記載の上、  
右記アドレスまで、ご送信ください。contact@appfi.org  
問合せ・担当(石津 勝 090-7114-2842)  
申込締切日は、2018 年 9 月 14 日(金)。期限厳守、先着順とさせていただきます。

## 訪問予定地の概要紹介

### 近江八幡水郷めぐり (近江八幡和船観光協同組合 (Tel : 0748-32-2564))

近江八幡という街は、関白豊臣秀吉が甥の豊臣秀次に命じて、廃城となった安土に変わり近江の国支配の中心地として八幡山城を築かせたことに始まり、秀次が琵琶湖を行き来する全ての船を城の内堀ともいうべき八幡堀に引き入れることで近江国の経済の中心地となり、後の近江商人発祥につながったといえます。近江八幡水郷めぐりですが、秀次は、戦塵の垢をおとすべく雅な宮中の舟遊びに似せて、豊年橋から広がる水郷地帯へと近従と共に船めぐりをしたと伝えられており、これが今に伝わる近江八幡水郷めぐりの発祥です。近江八幡水郷めぐりは、船頭が櫓と竿で巧みに操りながら、自然の作り出す別世界、残された自然を味わうことができます。

### ラ コリーナ近江八幡 (近江八幡市北之庄町 615-1 Tel : 0748-33-6666)

魅力的なスイーツを世界に発信する「たねやグループ」のフラッグシップ店として、2015年にオープンした『ラ コリーナ近江八幡』。滋賀県の美しい緑に囲まれた広大な敷地に、和洋菓子を扱うショップをはじめ、本社・飲食店・農園などがつくられ、自然の中でスイーツが楽しめる素敵な場所です。有名建築家(藤森照信氏)が手掛けた素晴らしい建物や施設を巡るツアーなど、従来の和洋菓子店とは一線を画す新しい空間づくりも特徴です。

### ヴォーリズとヴォーリズ記念館 (近江八幡市慈恩寺町元 11 Tel : 0748-32-2456)

ヴォーリズは明治 38 年に八幡商業高等学校の英語教師として来日し、昭和 39 年に 83 歳の生涯を終えるまで彼は近江八幡市に留まり、キリスト教の伝道とその主義に基づく社会教育、出版、医療、学校教育などの社会貢献活動を行いました。そしてこれらの事業を経済的に支えるべく多くの人々と力を合わせ、建築設計会社やメンソレータム(現メンターム)で知られる製薬会社などの企業活動を展開していきました。生涯、個人資産を持たなかったヴォーリズの精神は、今の近江八幡市に脈々と流れており、全国の様々な方や団体もヴォーリズの精神、事業等を受け継いで活動しています。ヴォーリズ夫妻が後半生最後まで住んだ住宅は、現在ヴォーリズ記念館(一柳記念館)といます。

### 近江八幡市立資料館(郷土資料館・歴史民俗資料館)、旧西川家住宅、旧伴家住宅

(近江八幡市新町 2 丁目 22 Tel : 0748-32-7048) 他

郷土資料館は、かつて海外で活躍した近江商人・西村太郎右衛門邸跡に昭和 49 年(1974)3 月に開設され、旧市街地の中心・新町通りに位置し、八幡商人のふるさととしての歴史を伝えています。建物は、明治 49 年(1886)八幡警察署として建設され、昭和 28 年(1953)大幅に改築され、現在の形になりました。この時改築の設計をヴォーリズ建築設計事務所が行っています。歴史民俗資料館は、江戸時代末期の民家を修復し昭和 54 年(1975)に開館しました。近江八幡の商家の帳場風景や当時の生活ぶりをそのまま再現しています。

西川利右衛門は、近江八幡を代表する近江商人の一人で初代から昭和 5 年に 11 代が没するまで、約 300 年間にわたって活躍しました。屋号を「大文字屋」と称し蚊帳や畳表などを商い財をなし、豪商としても位置を築きました。家屋は昭和 56 年 1 月、重要文化財に指定、昭和 60 年より保存修理が行われ、主屋は宝永 3 年(1706)の建築当初の形に復元されました。

伴庄右衛門は江戸時代初期から活躍した八幡商人の一人で、屋号を「扇屋」といい、主に蚊帳と畳表を商い豪商となりました。今に残る旧伴家食うたくは 7 代目が文政 10 年(1827)より天保 11 年(1840)の十数年をかけて建築したものです。

### BIWAKO ビエンナーレ (近江八幡市仲屋町中 12 スワイビル 2F Tel : 0748-36-3766)

2001 年、21 世紀の幕開けとともに始まった BIWAKO ビエンナーレ。会場となる近江八幡旧市街は、豊臣秀次により築かれた城下町を基礎とし、近世では近江商人発祥の地として発展しました。江戸期に建てられた町家が軒を連ねる新町通り、永原町通り、八幡堀沿いの町並みおよび日牟禮八幡宮境内地は「近江八幡市八幡伝統的建造物群保存地区」の名称で国の重要伝統的建造物群保存地区として選定されています。しかし市内では、放置され荒れ果てた多くの空き町家が点在し、近代建築や駐車場へと姿を変えていくという現状があります。BIWAKO ビエンナーレでは、そうした現状を打開すべく、残された貴重な建物の保存と活用を試みます。長年放置されていた建物を、地元住民や日本全国から集まる有志たちの手で清掃することから始め、国内外より集まるアーティスト達が各々の空間を作品化していきます。

### ボーダレス・アートミュージアム NO-MA (近江八幡市永原町上 16 Tel : 0748-36-5018)

このミュージアムの特徴は、障害のある人の表現活動の紹介に核を置くことだけに留まらず、一般のアーティストの作品と共に並列して見せることで「人の持つ普遍的な表現の力」を感じられるところにあります。このことで、「障害者と健常者」をはじめ、様々なボーダー(境界)を超えていくという実践を試みています。

(各施設情報は、それぞれの HP 記載情報から引用要約してあります)